

ひとり一人が輝く 中能生を目指して

なかのう倶楽部

地域づくりプラン



中能生地域づくり協議会

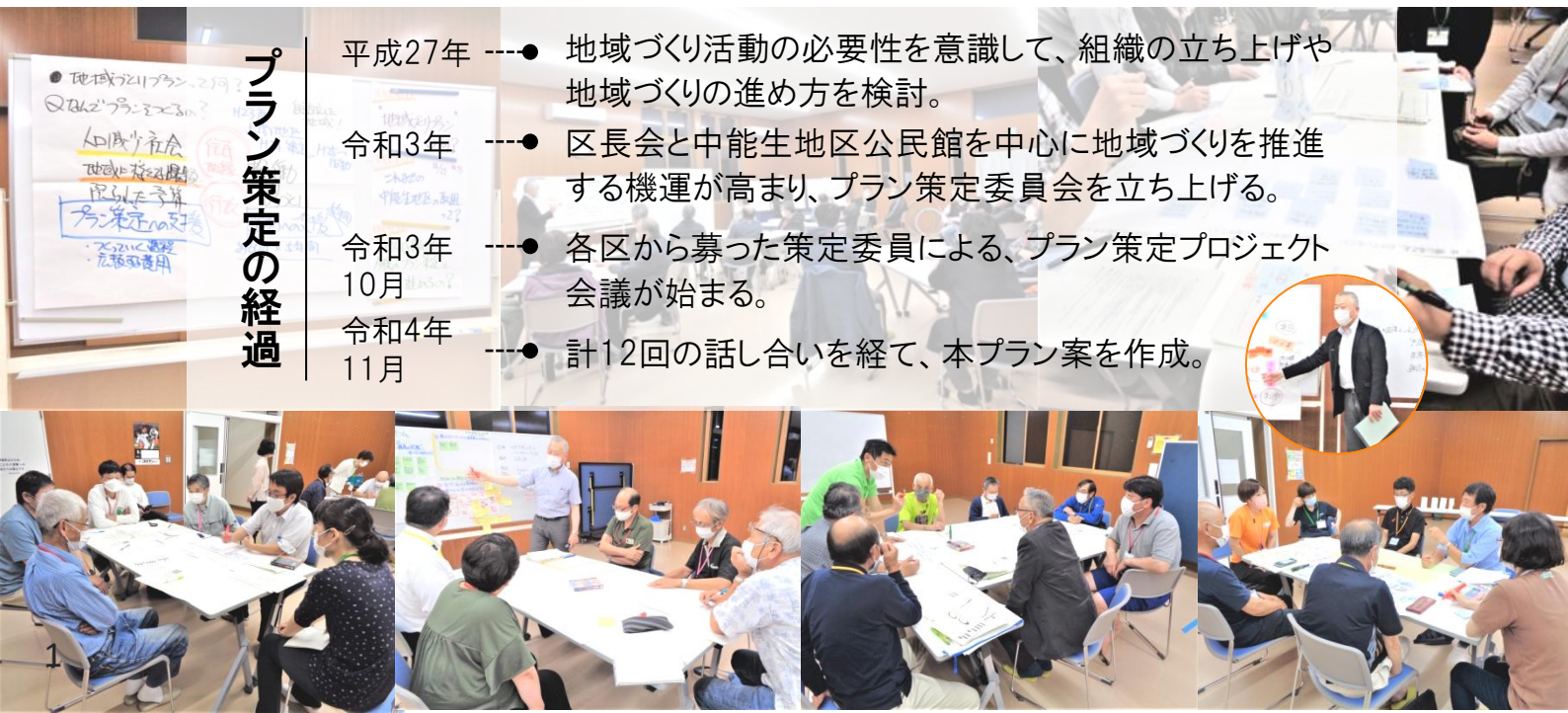
01	はじめに	
	● 目次	1
	● 地域づくりプランとは	1
	● プラン策定の経過	1
02	中能生地区の概要	
	● 中能生の位置図	2
	● 中能生地区の人口と推移	2
03	理想像と基本方針	
	● こんな中能生になったらいいな	3
	● 活動目的と活動方針	3
	● 4つの方策と活動チーム	4
	● 中能生の活動案	4
04	活動内容	
	● ① 交流促進部会	5
	● ② より所部会	6
	● ③ 地域資源活用部会	7
	● ④ 情報ベース部会	8
05	活動体制	
	● 活動推進体制	9
	● 収支計画	10
	● 活動を継続していくために	10

地域づくり
プランとは

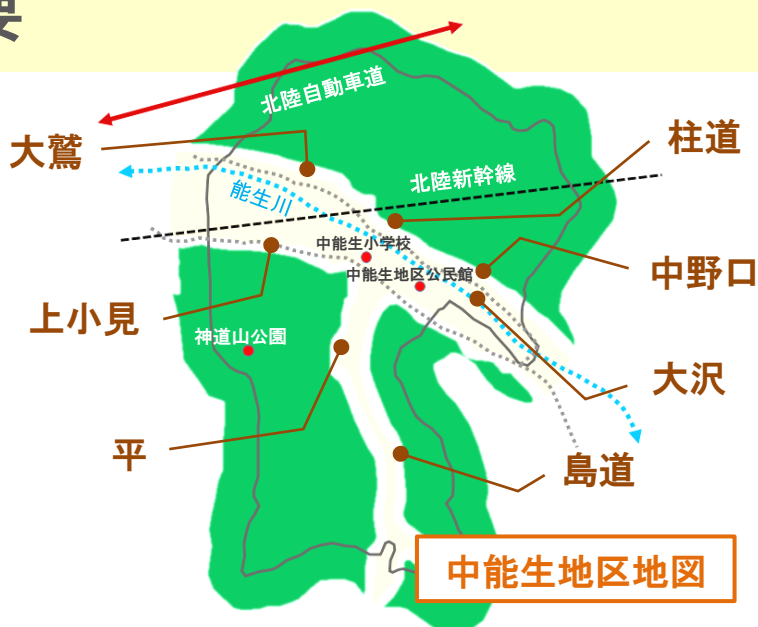
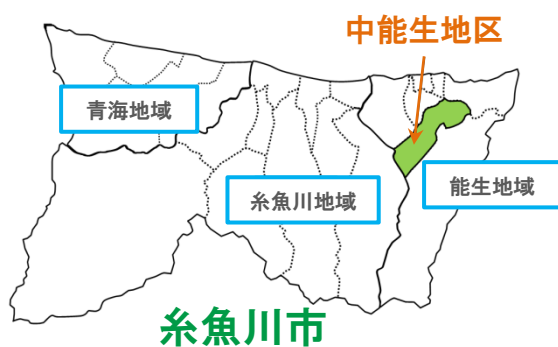
少子高齢化、人口減少が進むにつれて、地域のつながりの希薄化、担い手不足などの様々な課題が顕在化しています。地区住民が主体となって、住みやすい地域、住み続けられる地域、受け継いでもらえる地域に向かって、どういった活動をしていくのかを具体的に示したものが地域づくりプランです。

プラン策定の経過

- 平成27年 --- ● 地域づくり活動の必要性を意識して、組織の立ち上げや地域づくりの進め方を検討。
- 令和3年 --- ● 区長会と中能生地区公民館を中心に地域づくりを推進する機運が高まり、プラン策定委員会を立ち上げる。
- 令和3年10月 --- ● 各区から募った策定委員による、プラン策定プロジェクト会議が始まる。
- 令和4年11月 --- ● 計12回の話し合いを経て、本プラン案を作成。



中能生地区の位置図



中能生地区の人口と推移

(令和4年4月1日時点)

※ハイツ能生、おおさわの里含む



人口 1338人 (男性 626人 ・ 女性 712人)



高齢化率 48.8%



世帯数 569

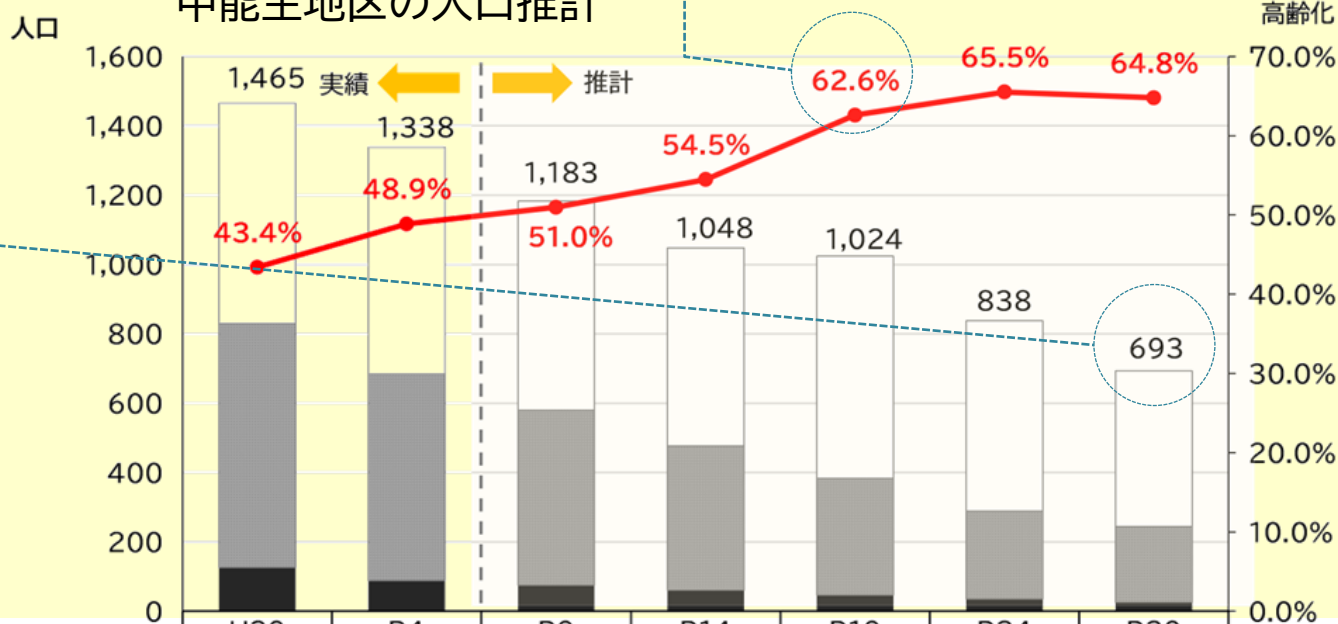


集落 7 : 上小見、平、島道、大沢、中野口、柱道、大鷲

平成29年の人口約1400人は、30年後の令和29年には約700人の半分に

高齢化率は20年後の令和19年には60%を超える見込みです

中能生地区の人口推計



※予測はコーホート変化率法を用いています。

こんな中能生になったらいいな

中能生地区 20年後の
理想的な姿

いくつになっても健康でいられる

里山を保全し
共存しつつ
自然を活用して
財源を作り出す素材や資源を活かし
人を呼び込む

若者が住み続けられる

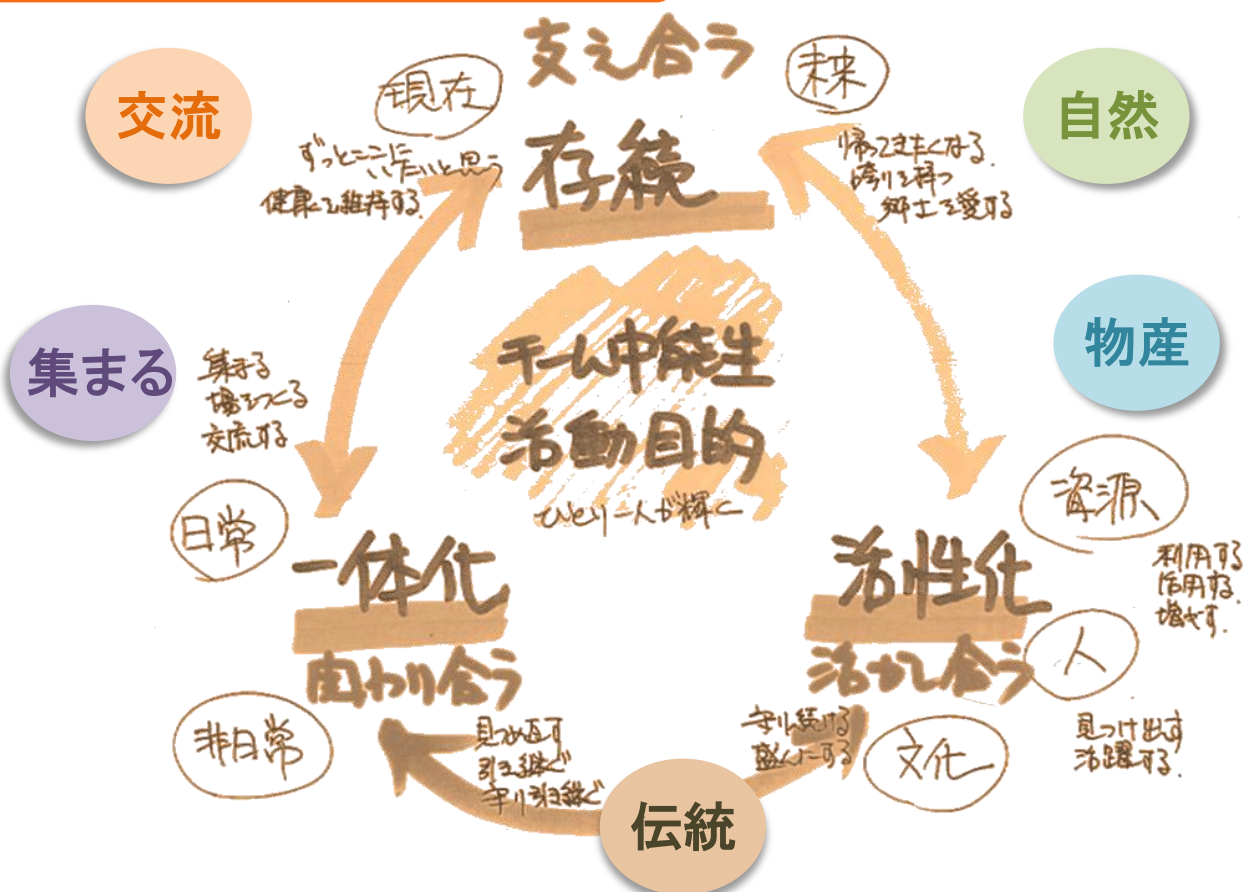
皆に拠り所がある

〈活動目的〉

〈活動方針〉

ひとり一人が輝き
ずっと住み続けられる中能生3つの活動方針を基にやりたいこと、
興味のあることを想像すると
大まかに5つに分類されました① 伝統 ② 自然 ③ 物産
④ 集まる ⑤ 交流持続化
(支え合う)一体化
(関わり合う)活性化
(活かし合う)若者が住み続けられる地域を
目指し、住みやすく、また住み甲斐を感じられる活動
を想定。7地区の一体化、全住民の
繋がりをづくりを目指すことで、
持続化や活性化を後押しする活動
を想定。中能生にある有形無形の資源
(人、文化、自然、インフラなど)を見つけて出し、活用
する活動を想定。

チーム中能生の活動目的と方針図



ひとり一人が輝く 中能生をめざして

5つに分類された具体的な「やりたいこと」から「やるべきこと」を重ねて、4つの方策を決定し、活動チームが誕生しました。

4つの方策と活動チーム

部会名

活動① 伝統行事や子ども達の交流から、中能生地区全体に交流の機会を提供していく。

交流の機会
チーム

交流促進
部会

活動② 居酒屋やカフェのような集まれる場所を作り、中能生の繋がりを進めて行く。

拠り所
チーム

より所
部会

活動③ ウォーキングを通じて地域の良さや課題を体感し、資源保全への関心を集め、活性化を進めて行く。

地域資源活用
チーム

地域資源活用
部会

活動④ 情報発信と共有を通じて「7区が一体になっていると感じる状態」にする活動を進めて行く。

情報ベース
チーム

情報ベース
部会

伝統

- ☐ 中能生全体でお祭り（屋台や盆踊り）
- ☐ 中能生全体でさいの神（同じ日時にそれぞれの区で火をつける）

自然

- ☐ 中能生の地図を作成し、巡るルートを作る（巡る中で伝統を知り、共有できる財産を知る）
- ☐ 能生川を一周できる遊歩道の整備（山王橋～白山大橋～小見川合流地点）

物産

- ☐ 大平ブナ林を活かす（林の中でキャンプ、風呂、ジビエ）
- ☐ 奴奈川姫産所の草刈り体験 & お守り販売

集まる

- ☐ 中能生全体の夏祭り、花見などのイベント（みんなが顔見知りになり、挨拶できる地区に）
- ☐ 早明公園の整備、バーベキューなどで交流

交流

- ☐ お祭りで子どもと大人が集まれる場所作り
- ☐ コミュニティの場作り（昼は高齢者が集えて、夜は居酒屋）

こんな
活動案が
できました

活動部会 ①

交流促進部会

テーマ ▶	つながろう中能生
事業の目的 ▶	中能生地区全体（多世代）の一体感
現状・課題 ▶	地域の交流が少ない、子どもが減っている 自然の中で安心して遊べる場所が少ない
目指す将来像 ▶	交流を深めて地区全体が盛り上がる 伝統行事の継続と世代間交流
事業の概要 ▶	季節の行事復活（ ^{ちやごと} 茶事・夏祭り）

■ 5年間の活動計画

1年目（R5）	2年目（R6）	3年目（R7）	4年目（R8）	5年目（R9）
令和の茶事	→			
夏祭り	→			

■ 主な活動内容

^{ちやごと}
春 茶事の復活

自然体験をしながら、ごはんを食べる

現代では難しい行事ですが、令和の茶事として大人が見守りながら、自然を学び、自然で楽しむ茶事にしたいと考えています。

茶事って何？

今のおじいちゃん、おばあちゃんが子どもの頃は、春休みの4月3日になると『茶事』をしていました。茶事とは、すきな場所で友達と一緒にごはんを食べる、子どもだけで行う行事です。昔はご馳走だったお餅やお寿司、おにぎりやお菓子などを持ち寄っていたそうです。

今とは違い、昔は熊やイノシシに怯えることなく、野山で子どもたちが自由に遊んでいました。

私たちが
目指すのは

子どもと大人が楽しく交流でき、いつまでも
思い出に残る行事を継続して行っていくことです。

夏 夏祭りの開催

中能生地区全体で盆踊り！

屋台を出して、7地区全体でワイワイ盛り上げられる夏祭りを開催したいと考えています。老若男女問わず誰もが知っている盆踊りで、伝統継承と交流促進を図ります。



こんな意見もありました

早明公園の整備、ゲームの開催、中能生全体でさいの神などの実施。



活動部会 ②

より所部会

テーマ ▶	中能生の産物を使い集いの場を作ろう
事業の目的 ▶	みんなが気軽に集まれる居場所を作る
現状・課題 ▶	地域で集まれるところがない、行事に人が集まらない 高齢者の移動手段がない
目指す将来像 ▶	地域の人が気軽に集まって交流できる場がある
事業の概要 ▶	誰でも利用できる食堂とフリーマーケット 高齢者を対象とした送迎、宅配 ※味旬蘭中能生開催時 地域の食材の利用、販売

■ 5年間の活動計画

1年目（R5）	2年目（R6）	3年目（R7）	4年目（R8）	5年目（R9）
味旬蘭中能生（食堂・フリーマーケット）	味旬蘭中能生の送迎・宅配サービス	地域食材の活用		

■ 主な活動内容

味旬蘭（ミシュラン）中能生

中能生の旬の味を楽しむ食堂 & フリーマーケット

地元野菜や新米を使った食事を提供し、だれでも利用できる「みんなの食堂」を定期的に開催します。同時に地元野菜のフリーマーケットを開催し、地域食材を活用します。



味旬蘭中能生開催時の 高齢者の送迎・宅配サービス

一人暮らしの高齢者の方を対象に、移動サービスや宅配サービスを検討し、誰もが利用できる拠り所を目指します。



▲ 令和4年10月30日（日）におためし開催しました。

こんな意見もありました

ウォーキングイベントとのコラボや、魚釣りなど、自然体験をしながら季節ごとのイベントを開催。



私たちが
目指すのは

中能生の誰もが気軽に集まれる
「居場所」を提供し、中能生全体の
繋がりがづくりを行っていくことです。

活動部会 ③

地域資源活用部会

- | | |
|----------|--|
| テーマ ▶ | 地域資源を活かして健幸になろう |
| 事業の目的 ▶ | 今ある地域資源を再発見し、健幸づくりに寄与する |
| 現状・課題 ▶ | 神道山等の施設が活用されていない
地区に直売所がない、獣害が増えている |
| 目指す将来像 ▶ | 地区のみんなが健幸で、地区の魅力に気づいている |
| 事業の概要 ▶ | ウォーキング、バードウォッチング
新緑巡り、地域資源の整備 |

■ 5年間の活動計画

1年目（R5）	2年目（R6）	3年目（R7）	4年目（R8）	5年目（R9）
ウォーキングイベント				
		地域資源整備		
		バードウォッチング	新緑巡り	

■ 主な活動内容

中能生ウォーキング

春

新緑を感じる神道山ウォーキング



夏

夏の風を感じる小出山出生寺ウォーキング



秋

秋の風を感じる大平ブナ林ウォーキング



私たちが
目指すのは

豊かな自然を感じながら、心とからだの
健幸を育み、今ある資源を活かしながら
みんなから愛される場所を増やしていくことです。

地元の人
も訪れ
ない
地域資源を

地元の人
が愛
してや
まない
地域資源に

活動部会 ④

情報ベース部会

テーマ ▶	中能生をもっと知って活動に参加しよう
事業の目的 ▶	地域の情報を共有し、一体感を作る
現状・課題 ▶	7地区で情報共有されていない
目指す将来像 ▶	情報共有が図られ、地域の情報や行事に関心を持ち、活動に参加する人がたくさんいる
事業の概要 ▶	地域のカレンダー制作、中能生マップ制作 公式LINE開設、LINE講座会、かわらばんの発行

■ 5年間の活動計画

1年目（R5）	2年目（R6）	3年目（R7）	4年目（R8）	5年目（R9）
かわらばん発行				
	地域のカレンダー			
	公式LINE開設・LINE講習会		マップ作成	

■ 主な活動内容

地区情報の発信

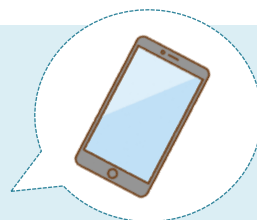


地域のカレンダー & 中能生のマップ制作

地区自慢を入れたカレンダーや、テーマを持ったマップを制作します。（中能生お散歩マップなど）



私たちが
目指すのは



公式LINE開設 & LINE講座会の開催

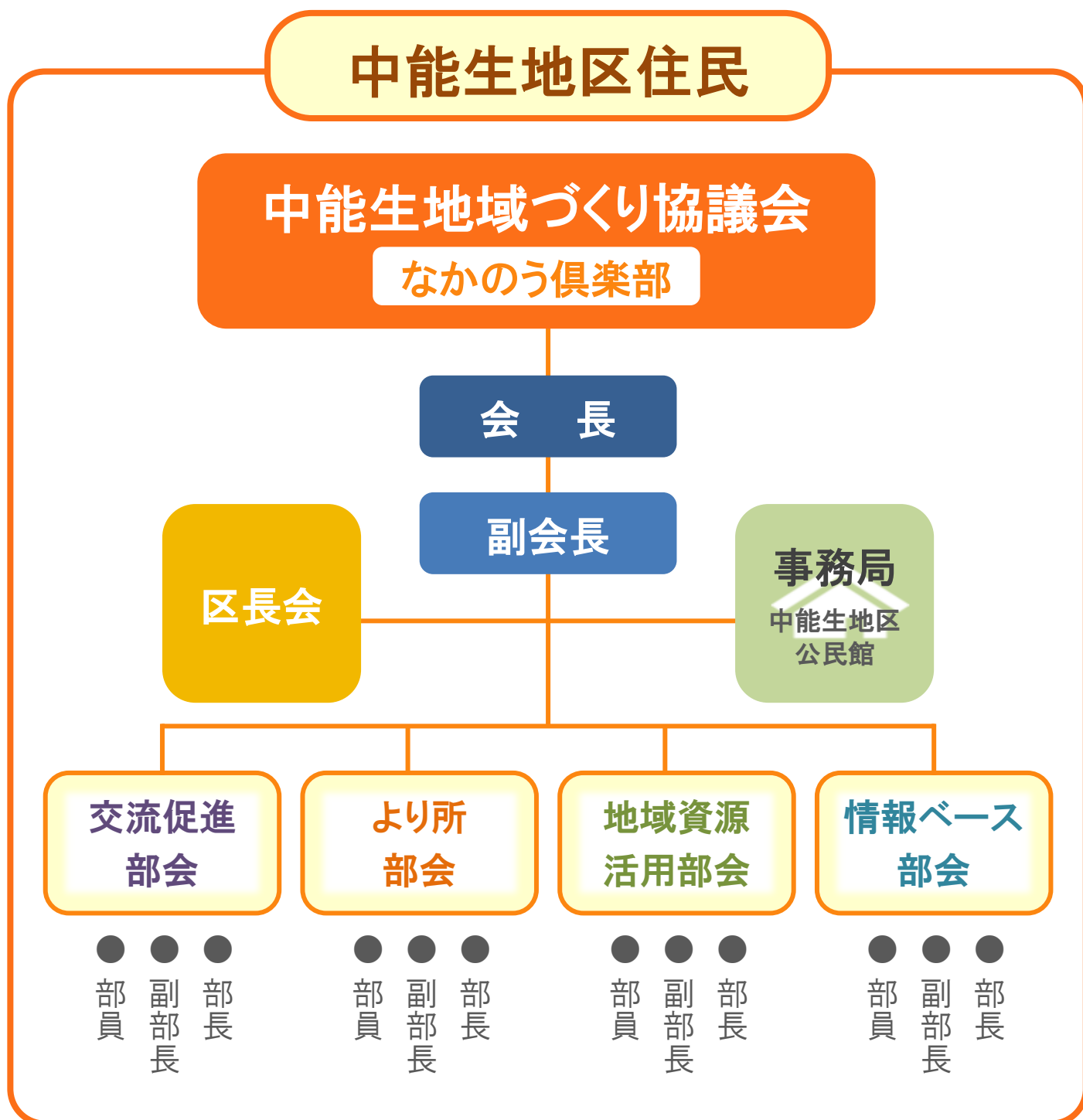
地域の情報発信の方法として、中能生公式LINEを開設します。
多くの方から活用してもらえるように、LINE講習会を行います。

かわらばんの発行

地域づくりだよりの配布や公式LINEにより、活動をお伝えします。

中能生の活動やイベントを知る人を増やすことで、参加し関わってもらえるように、情報発信を行っていくことです。

活動推進体制



地域づくりは、中能生の7区全てが一つになって活動し、中能生地区の全住民一人ひとりが主役です。全ての世代が輝ける楽しい中能生地区を目指して、一緒に活動していきましょう！

会議の開催について

総会：年1回 ／ 役員会：年2回程度 ／ 部会：随時
なかのう倶楽部定例会：年3回程度

年度別収支予算

プランの対象期間 令和5年度（2023年）～ 令和9年度（2027年）

収 入

単位：千円

費 目	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	合 計
市補助金	640	630	620	610	600	3,100
自己財源	80	130	130	130	130	600
合 計	720	760	750	740	730	3,700

収入は市補助金その他、事業収入やその他の自己財源を見込んでいます。

支 出

単位：千円

費 目	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	合 計
交流促進	100	250	260	240	150	1,000
より所	200	150	150	150	150	800
地域資源	100	100	100	100	100	500
情報ベース	100	150	150	200	280	880
事務費	220	110	90	50	50	520
合 計	720	760	750	740	730	3,700

活動を継続していくために

大切に
したいこと

① 小さく生んで大きく育てる

いきなり大きな活動をするとうどこかに無理が生じます。
無理をせず、楽しみながら活動することを大切にします。

② たくさんの人が関わる仕組みを基本にする

積極的に活動や話し合いの内容を皆さんに広報し、新しい人でも気軽に
参加できる環境を作っていきます。

③ 今上手くいっている活動はそのままにする

中能生地区では既に様々な団体による活動が行われています。その活動を
大切にしながら、新たな地域づくり活動で、地域活性化を目指します。

いつまでも生き生きと健やかに、住み慣れた地域で暮らし続けたいと私達は願っています。人生100年時代を迎える中、少子高齢化が加速しています。

世代や立場を超えて互いに助け合い、支え合いながら誰もが希望や生きがいを持って暮らせる社会を構築するためには、私達は自分の周囲に目を向け、地域の絆を再確認しつつ、中能生の人と人、世代をつなぐ地域共生社会の実現に向けて、この活動の推進に参加しましょう。



中能生地域づくり協議会

事務局：中能生地区公民館

〒949-1331 糸魚川市大沢241-2

電話 (025) 566-5423 メール nakanouko@bz04.plala.or.jp

